

# プレゼン概要

## 1. 会社概要について

会 社 名：株式会社バース情報科学研究所  
 本 件 担 当 者：河野 浩之（こうの ひろゆき）  
 住 所：東京都千代田区一番町13-3  
 T E L：03-3265-7044（代表）  
 U R L：https://www.birds.co.jp/  
 設 立 年 月 日：1982年1月6日  
 資 本 金：1億円  
 従 業 員 数：207名（2020年7月1日現在）  
 事 業 内 容：(1) 経営管理システム開発の総合コンサルティング  
 （基本構想の設計から機種選定・開発・運営指導・人材育成まで）  
 (2) ビジネスシステム向ソフトウェアの開発  
 (3) ネットワーク（グループウェア）システムの開発  
 (4) FAX-OCRデータエントリーサービス  
 (5) アウトソーシングサービス

## 2. アライアンスビジネス交流会発表内容

- プレゼンテーションする製品・サービスの分類
- ・クラウドによるドローン撮影画像整理サービス

- プレゼンテーションする製品・サービス名
- ・「バース D-Photo+（バース ディーフォトプラス）」
- ※上記名称は仮称であり、今後変更する可能性があります

- プレゼンテーションテーマ
- ・ドローン撮影画像整理サービス「バース D-Photo+」（仮称）のご案内

- プレゼンテーション概要
- ・弊社は今秋のドローンの携帯電波利用解禁に向けて、ドローン撮影画像整理サービスの事業準備とともに、ドローン・ジャパン株式会社との共同実証実験を始めました。ドローンに搭載可能な専用ユニットのカメラより撮影された画像をリアルタイムで当社開発のクラウドシステムへ転送し、画像整理・機体情報管理から機体航行の位置情報取得が可能です。さらに、今後はスイス Pix4D 社が開発した 3 次元点群データからオルソモザイク画像などまで高効率で自動作成する SfM（Structure from Motion）ソフトウェア「Pix4D」やその他解析用 AI サービスとの連携を進める予定です。

ドローンは今後「空のモバイルネットワーク」としてより多くのビジネスシーンにおいて利用が見込まれ、新たなソリューションビジネスとしての期待が高まります。本サービスはドローンが撮影した画像整理の効率化を図るために開発したものです。ドローン以外のカメラ搭載 IoT 機器でも利用が可能ですので、さまざまなソリューション提案ができるものと考えております。

- プレゼンテーションの目的（ご希望の提携の優先順位 1~4 を〔 〕内にご記入ください）
- 販売提携〔1〕 技術提携〔2〕 資本提携〔 〕 その他提携〔3〕

### <提携の具体的な内容>

- ・ドローンメーカー（特に国内）技術提携（特に共同実験等）・販売提携などの協業
- ・国内通信キャリアとの技術提携（特に共同実験等）・販売提携などの協業
- ※特に販路の拡大に向けてご協力頂ける企業様を募集しております

- アライアンス対象の相手企業のメリット
- ・国内ドローンビジネスの市場規模は 2020 年度には前年度比 37%増の 1,932 億円に拡大し、さらに 2025 年度には

6,427 億円（2019 年度の約 4.6 倍）に達することが見込まれています。総務省の制度変更により携帯電話の上空利用が急速に進むことが予測されることから、ドローンで取得した各種データをリアルタイムに業務利用することが可能になります。このように本サービスを使って弊社とアライアンスを組んで頂けると、拡大を続けているドローン分野の新たな市場参入の可能性が期待できます。